

そのような兆しが見えて来たら、「そういえば、ごうちゃんねるで言うてたな」ということで、皆さん、いいねボタンを押してください。

さて、バビロンはギリシア語です。ヘブライ語ではバベル。ヘブライ語で“混乱する”という動詞はビルデル。これが名詞化してバベルになりました。昔バベルの塔があった場所が大バビロン。言葉が混乱した、あの場所なんですね。ですから、大バビロンはイラクのバビロンです。

2) 大バビロンはどのようにして世界中の人を支配するのか。

8 御怒りを招く淫行のぶどう酒を、すべての国々の民に飲ませた都が。

ぶどう酒という単語に2つの修飾語が掛かっています。

①淫行のぶどう酒。

反キリストを神として崇拝することにより、世界の人々に空前の富をもたらす。アルコールでぐでんぐでんに酔っぱらうように、富の豊かさに酔いしれる。反キリストを神として拝むことで、莫大な富が転がり込んで来るようにする。

②御怒りを招くぶどう酒。

10 神の御怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた、神の憤りのぶどう酒を飲み、

神の憤りのぶどう酒。同じことです。御怒りを招くぶどう酒は神の裁きを意味するんですね。

御怒りを招く淫行のぶどう酒、どう言ったらいいですかね。

フグの肝(きも)って、とても美味しかったようですね。しかし、美味いけど食ったら死にました。反キリストと繋がることは、この地上において空前の繁栄を得ること。実に快樂で気持ちがイイ。しかし、神の裁きを身に招くことになる。なので、御怒りを招く淫行のぶどう酒と言っているのです。反キリストが提供する繁栄は最終的に人類を滅ぼすものになる、という警告が語られているんですね。

3) 倒れた、倒れた、大バビロンが。なぜ倒れたが2回繰り返されているのか。

大バビロンがどんなに空前の繁栄をしても、この崩壊・滅亡は確実にやって来ることを強調しているのです。艱難時代後半の3年半がこれから始まろうという時だから、まだ倒れてないんです。でも、この世の裁判でも、最終的な裁判で裁判長が判決を下した時と刑が執行される間に時間差がある。そういうことがありますよね。

黙示録に書いてある神様のプログラムは、「どんなに反キリストが抵抗しようが、最後の最後には必ず滅びるのだ！正義の審判が下るのだ！」と語っているのです。

これは、この時に生きている人たちには大きな励ましとなるに違いないのですね。

次回は第4番目の宣告について解説します。いよいよ黙示録の真骨頂に入りますので、これからもよろしければお聞きください。チャンネル登録もお願いします。

ではまたこのチャンネルでお会いしましょう。皆さん、お元気でいてください。さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。